

タイ人の訪日旅行に関する意向調査

訪日タイ人の人気観光地ランキング2020

人気スポット

「河内藤園」「新穂高ロープウェイ」などが大幅ランクアップ

人気観光地名

「蔵王」「福島」など東北地方が大幅ランクアップ

都道府県

毎年順位を上げ、ついに大阪が1位！

リピーター

リピーターは「景色が綺麗な山」「温泉」に関心

株式会社アジア・インタラクティブ・サポート (愛知県名古屋市、代表取締役:青木達夫) では、毎年日本旅行に興味のあるタイ人を対象にWeb上で大規模なアンケート調査を実施しております。この度、2019年度末に実施した日本国内の観光スポット、観光地名、都道府県のランキング集計がまとまりましたのでここに発表させていただきます。

当社は、2012年よりタイ人のインバウンド市場に取り組み、2016年からは日本旅行情報Webサイト「Chill Chill Japan」を現地EN FETE社と共同で運営しています。今年の「タイ人の訪日旅行に関する意向調査」では、40の設問に対し1,556名のタイ人の方々から有効回答を得ることができました。

【調査概要】

- ・ 調査方法：インターネットアンケート調査
- ・ 調査期間：2019年12月04日～2020年2月20日
- ・ 調査対象者：タイ人（日本旅行に関心を持つ）
- ・ 有効回答者数：1,556

【人気観光地の調査・集計の方法】

- ・ 質問項目：「今行ってみたい日本の観光地・施設はどこですか？」
- ・ 回答は記述式のフリーアンサーで5つまで答えることが可能（それぞれが1票）
- ・ 回答の集計は、タイ語を、類推で日本の地名・スポット名に変えることなくそのまま日本語に翻訳し、翻訳された日本語に関しては、明らかに同一地名もしくは同一施設と考えられるもののみ統一して集計。スポットで所在地がはっきりしている場所は、観光地名・都道府県等の集計にそのまま加算している。

【回答者基礎データ】

1.性別	
男性	355
女性	1201
総計	1556

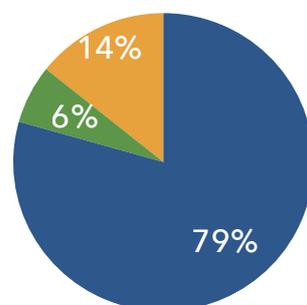
2.年齢	
19歳以下	50
20～24歳	186
25～29歳	255
30～34歳	225
35～39歳	206
40～44歳	199
45～49歳	144
50～54歳	134
55歳以上	157
総計	1556

3.月収	
30,000バーツ未満	326
30,001～50,000バーツ	467
50,001～70,000バーツ	310
70,001～100,000バーツ	195
100,000～150,000バーツ	141
150,001～200,000バーツ	68
200,001～500,000バーツ	38
500,001バーツ以上	11
総計	1556

4.旅行のタイプ	
個別手配	1235
個人向けパッケージツアー	99
団体ツアー	222
総計	1556

5.訪日回数	
0回	445
1回	338
2～4回	505
5～9回	212
10～19回	48
20回以上	8
総計	1556

4.旅行のタイプ



- 個別手配
- 個人向けパッケージツアー
- 団体ツアー

タイ人に人気の観光スポットランキング

「銀山温泉」「キロロリゾート」「河内藤園」「新穂高ロープウェイ」「那智の滝」が大幅ランクアップ

1位は3年連続で「富士山」が獲得。上位の顔ぶれは大きく変わらないものの、「日本アルプス」がベスト10入り。その他ゴールデンルート以外で「銀山温泉」「キロロリゾート」「河内藤園」「新穂高ロープウェイ」「那智の滝」などが大幅に順位上げました。新穂高ロープウェイなどはここ数年の継続的なプロモーション施策が効果を発揮した形になりました。

順位	スポット名	昨年順位	変動
1	富士山	1	-
2	白川郷	2	-
3	東京ディズニーリゾート	3	-
4	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	4	-
5	河口湖	5	-
6	浅草寺	7	↑1
7	上高地	9	↑2
7	大阪城	6	↓1
9	日本アルプス	13	↑4
9	東京タワー	8	↓1
11	清水寺	11	-
12	ガーラ湯沢	12	-
13	立山黒部アルペンルート	14	↑1
14	由布院温泉/湯布院	15	↑1
15	姫路城	10	↓5
16	金閣寺	17	↑1
17	銀山温泉	30	↑13
17	小樽運河	20	↑3
19	伏見稲荷大社	16	↓3
20	東京スカイツリー	21	↑1
21	皇居	18	↓3
22	富士急ハイランド	27	↑5
23	地獄谷野猿公苑	28	↑5
24	上野公園	21	↓3
24	キロロリゾート	50	↑26
26	河内藤園	49	↑23
26	猫の島 (多数あり)	39	↑13
28	嵐山の竹林	24	↓4
28	新穂高ロープウェイ	79	↑51
28	那智の滝 (熊野那智大社含む)	50	↑22
28	国営ひたち海浜公園	29	↑1
32	藤子・F・不二雄ミュージアム	44	↑12

順位	スポット名
32	砕氷船網走
32	ジブリ美術館
32	宮城蔵王キツネ村
32	海遊館
37	嵯峨野トロッコ列車
37	松本城
37	アメ横
37	別府温泉/別府
37	明治神宮
37	城崎温泉
43	青い池 美瑛
43	青山剛昌ふるさと館
43	元乃隅神社
43	サンリオピューロランド
43	黒門市場
43	熊本城
43	仁和寺
50	目黒川
50	江ノ島
50	阿蘇山
50	八方池
50	築地市場
50	忍野八海
50	道頓堀戎橋グリコサイン
50	多慶屋
58	蔵王温泉スキー場
58	ハウステンボス
58	小原四季桜
58	鳥取砂丘
58	厳島神社
58	新倉山浅間神社 忠霊塔
58	貴船神社
58	沖縄美ら海水族館

順位	スポット名
58	札幌雪まつり
58	ファーム富田
58	山寺
58	広島平和記念公園
70	知床
70	宝川温泉
70	天橋立
70	乳頭温泉 鶴の湯温泉
70	五箇山合掌の里
70	美ら海水族館
70	富士五湖
70	蔵王の樹氷
70	伊賀流忍者博物館
70	十和田湖
70	端島 (軍艦島)
70	弘前城
70	日光江戸村
70	層雲峡
70	大山
70	祇園
70	白谷雲水峡
70	水のきれいな村
70	有馬温泉
70	白い恋人パーク
70	地獄谷
70	洞爺湖
70	青島 (猫の島)
70	高千穂峡
70	草津温泉
95	松江城
95	新宿御苑
95	レゴランド
95	浅草神社
95	ちひろ美術館
95	藻岩山
95	屈斜路湖

「蔵王」「福島」など東北地方が大幅ランクアップ

人気の観光地名では、「富士山」や「白川郷」など有名観光地を有する地域が上位を維持しています。そのほか、「仙台」「蔵王」「和歌山」「福島」など地方の観光地が順位を大幅にあげており、東北地方の躍進が目立ちました。

順位	観光地名	昨年順位	変動
1	大阪	1	-
2	富士山	2	-
3	京都	3	-
4	白川村（白川郷）	4	-
4	札幌	6	↑2
6	沖縄	7	↑1
7	舞浜	5	↓2
8	福岡	9	↑1
9	日光	11	↑2
10	仙台	18	↑8
11	名古屋	8	↓3
12	河口湖	10	↓2
13	広島	16	↑3
14	奈良	13	↓1
15	高山	12	↓3
16	浅草	14	↓2
17	渋谷	17	-
18	新宿	15	↓3
18	小樽	20	↑2
20	上高地	23	↑3
21	蔵王	44	↑23
22	函館	19	↓3
23	神戸	21	↓2
24	芝公園	22	↓2
25	上野	26	↑1
26	日本アルプス	31	↑5
26	和歌山	50	↑24
26	福島	46	↑20
26	湯沢	29	↑3
30	青森	27	↓3

順位	観光地名
30	横浜
32	長野
33	立山 大町
34	秋田
34	姫路
36	鳥取
36	お台場
38	長崎
39	熊本
39	山形
41	秋葉原
41	湯布院
43	静岡
44	银山
44	原宿
46	富良野
46	箱根
48	伊根
48	押上
50	埼玉
50	富士吉田
52	川越
53	皇居
53	新潟
55	網走
55	群馬
55	千葉
58	佐賀
59	松本
60	金沢

順位	観光地名
60	山ノ内
60	成田
60	白馬
64	富山
64	キロロ
64	豊田
67	川崎
67	北九州
67	美瑛
67	岡山
67	稚内
67	岩手
67	飛騨古川/飛騨/奥飛騨
67	茨城
75	ニセコ
75	三鷹
75	別府
75	支笏/登別/洞爺
75	日立
75	鎌倉
75	那智勝浦
82	北栄町（鳥取）
82	阿蘇
82	弘前
82	軽井沢
86	岐阜
86	河津
86	城崎
86	池袋
90	兵庫

タイ人に人気の都道府県ランキング

3年連続ランクアップでついに大阪が1位
観光地名と同じく東北地方が躍進

都道府県別では全都道府県が得票を得ています。今年は「大阪」が堅実な伸びを見せ、1位獲得となりました。また、「蔵王」「福島」などが観光地名で大幅に順位を上げ、「宮城」「山形」「福島」などの東北地方が躍進しました。

順位	都道府県	シェア	昨年 順位	変動
1	大阪	15.49%	3	↑2
2	東京	12.61%	2	-
3	北海道	9.97%	1	↓2
4	山梨	8.66%	4	-
5	静岡	7.16%	5	-
6	京都	6.93%	6	-
7	岐阜	5.26%	7	-
8	長野	3.13%	9	↑1
9	千葉	2.99%	8	↓1
10	沖縄	2.74%	10	-
11	福岡	2.52%	12	↑1
12	宮城	2.08%	16	↑4
13	栃木	2.00%	14	↑1
14	愛知	1.78%	11	↓3
15	広島	1.39%	15	-
16	兵庫	1.34%	13	↓3
16	富山	1.34%	20	↑4
18	神奈川	1.28%	17	↓1
19	奈良	1.20%	18	↓1
20	山形	0.93%	23	↑3
21	新潟	0.83%	19	↓2
22	青森	0.76%	22	-
23	福島	0.71%	28	↑5
23	和歌山	0.71%	31	↑8

順位	都道府県	シェア	昨年 順位	変動
25	埼玉	0.66%	29	↑4
26	大分	0.61%	21	↓5
27	鳥取	0.60%	26	↓1
28	秋田	0.57%	24	↓4
29	熊本	0.54%	25	↓4
30	長崎	0.52%	27	↓3
31	群馬	0.41%	30	↓1
32	茨城	0.31%	35	↑3
33	岩手	0.27%	38	↑5
34	三重	0.25%	32	↓2
35	佐賀	0.24%	33	↓2
36	鹿児島	0.20%	36	-
37	岡山	0.19%	36	↓1
37	山口	0.19%	44	↑7
37	石川	0.19%	34	↓3
40	島根	0.11%	42	↑2
41	宮崎	0.09%	43	↑2
41	愛媛	0.09%	40	↓1
43	滋賀	0.08%	41	↓2
44	香川	0.05%	45	↑1
45	高知	0.02%	46	↑1
45	徳島	0.02%	46	↑1
45	福井	0.02%	38	↓7

訪日リピーターは「景色が綺麗な山」「温泉」に関心

人気のスポットを訪日回数で分けると、「上高地」「日本アルプス」「立山黒部アルペンルート」などの景色の綺麗な山の観光地、「由布院温泉/湯布院」「銀山温泉」などの温泉観光地はリピーターでのランクインが目立ちました。これらのスポットの全体の得票からリピーターの出票率を見ると、上記のスポットは選んだ人の75%以上が日本旅行リピーターによる得票でした。

訪日回数2回以上		
順位	スポット名	各スポットへの得票中の比率
1	富士山	30.17%
2	白川郷	54.85%
3	東京ディズニーリゾート	41.94%
4	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	42.86%
5	河口湖	52.81%
6	上高地	75.00%
7	立山黒部アルペンルート	93.33%
7	日本アルプス	82.35%
9	ガーラ湯沢	68.75%
9	由布院温泉/湯布院	91.67%
11	銀山温泉	80.95%
12	大阪城	25.00%
12	清水寺	36.36%
12	小樽運河	57.14%
15	地獄谷野猿公苑	83.33%
16	富士急ハイランド	61.54%
17	キロロリゾート	63.64%
17	姫路城	30.43%
17	東京タワー	20.59%
17	別府温泉/別府	100.00%
21	碎氷船網走	75.00%
21	浅草寺	12.24%
21	宮城蔵王キツネ村	75.00%
21	金閣寺	27.27%

※上の表は得票順に並んでいます。

※「各スポットへの得票中の比率」は、各スポットの訪日回数2回以上のユーザーからの得票数÷各スポットの獲得した得票総数で求められる割合で、リピーターが占める割合を表しています。

東北地方が躍進。訪日リピーターは「山」「温泉」に関心

東北地方のスポットと地名がランクアップ 訪日リピーターは「景色が綺麗な山」「温泉」に関心

2019年に日本を訪れたタイ人観光客は131万人。今回の調査でも回答者の72%が訪日経験があるなど、日本へ旅行するタイ人は増加傾向にあります。今年は新型コロナウイルスの影響で旅行者数が減少しているものの、新型コロナウイルス後旅行需要が回復すればこうした傾向が引き続き継続されるものと思われます。各ランキングにおいて上位は根強い人気で昨年、一昨年から大きな変動は見られませんでした。上位のスポットを見ますと、自然・四季、世界遺産、大都市、伝統的な日本などタイ人の期待が読み取れます。また、タイでは体験できないものという観点から雪や温泉、動物と触れ合えるスポットなどもランクインしています。また、東北地方のスポットと地名のランクがアップしていました。「新穂高ロープウェイ」などは継続的なPRにより今年大幅に順位を上げ、PRをすることで認知度が上がる例となっています。その他、日本旅行に2回以上行ったことのある人が選ぶスポットランキングには、きれいな景色が見れる山の観光地、有名温泉地などが上位にランクインする傾向が見られました。

*今回、アンケート調査結果から人気観光地ランキングをご紹介します。今後、回答データを元にタイ人の日本旅行に関するデータを定期的に発表させて頂く予定です。

媒体と弊社の紹介

Chill Chill Japan



Chill Chill Japanはタイ人に向けて日本旅行情報を発信するWebメディアです。日本旅行の際に参考となるショッピングやグルメ情報などをはじめ様々な情報を提供しています。

2015年12月のサイト開設から1年10ヶ月の短期間で月間110万PVを突破し、昨年度月間150万PV、ユニークユーザー65万人を記録し、タイ人向け日本旅行情報WebメディアでNo.1と評されるようになりました。

- ・ Chill Chill Japanの詳細(日本語) <https://exptours.net/column/chillchilljapan/>
- ・ Chill Chill Japan 公式ウェブサイト <https://chillchilljapan.com/>
- ・ Chill Chill Japan 公式facebookページ <https://www.facebook.com/chillchilljapan/>

株式会社アジア・インタラクティブ・サポートについて

AISは、インバウンドサポート事業・旅行事業・宿泊事業と3つの事業を展開しています。これらの事業を通じて、訪日外国人に対して日本の観光情報やツアーや宿泊を提供し、できる限り高い満足を得ていただくことを目指しています。また、これらの事業から得たノウハウを皆さまに提供し、持続性ある集客および収益を効果的にプロデュースしています。当社に関するより詳しい情報は、<https://exptours.net/>をご覧ください。

■訪日外国人向けのメディア運営・ツアー企画実施・宿泊施設運営の3事業を展開

■インバウンド向けWebメディアを運営

(タイ向けNo.1インバウンドWeb「Chill Chill Japan」、台湾・香港向け「歩歩日本」)

■2016年に京都に開業した旅館「京町家 楽遊 堀川五条」はTripadvisor「外国人に人気の日本の旅館」2017年第1位、2018年10位を獲得し2年連続でトップ10入り。2018年には「楽遊」2軒目となる「京町家 楽遊 仏光寺東町」をオープン。2020年、Tripadvisor「外国人に人気の日本の旅館」に「京町家 楽遊 堀川五条」が2位、「京町家 楽遊 仏光寺東町」が11位に揃ってランクイン。



本件に関するお問い合わせ先

アジア・インタラクティブ・サポート

TEL: 052-339-3601

E-mail: inbound@asia-is.com